科目名称	哲学	学年学期	単位数	時間数
		第１学年　前期	1	30
担当教員	森川　孝吉	授業に関わる実務経験	□ 有（　　） ■ 無	

【1】 授業概要

人が互いに深く関わりあうために必要とされる感情、共感や愛について理論的に深めるとともに、社会人として互いを律する正義の本質、さらには人間の生死を通した本質を探る。

【2】 学習目標

1. 人間の価値観、生命及び尊厳について理解する。
2. 人間としての存在・生き方・自我などについて学び、自己洞察を深め、自己の人生観・死生観をもつ。
3. 物事の原理や本質を追究することで、思考力を養う。

【3】 第１看護学科ディプロマ・ポリシーとの関連性

■ 1. 人間を理解し、倫理的な態度で看護を実践する力
■ 2. あらゆる対象に応じた看護を実践する力
□ 3. 地域の特性を看護に生かす力
□ 4. 保健・医療・福祉システムにおける連携・協働できる力
■ 5. 主体的に学び続ける力

【4】 授業計画

	内容	主な授業形態
1	人間存在の本質と他者(1) 愛とは何か①愛の古典的３類型　愛は快い感情か’Art’か?	講義
2	人間存在の本質と他者(2) 愛とは何か②自律的結合と共棲的結合　愛することと尊敬することは別物か？	講義
3	人間存在の本質と他者(3) 愛とは何か③自己愛と人類愛　二人だけの愛は本物の愛か？	講義
4	他者への関心(1) 共感(1)共感の本質（A.スミス『道徳感情論』から）相互的共感がもたらす快、伝染的共感と想像力に基づく共感	講義
5	他者への関心(2) 共感(2)共感の成立条件としての適正さ当事者感情から距離を置いた第三者から共感されるには？	講義
6	他者への関心(3) 共感(3)第三者から称賛されたいと願う気持ちと、称賛に値したいと思う気持ちの違いは、社会道徳の質に影響を与える	講義
7	他者への関心(4) 共感(4)賢者の原理と弱い心　社会の繁栄を導く原理と社会秩序を導く原理はどう異なるか？	講義
8	公共性と私(1) 正義①ロールズの格差原理とは？　最大多数の最大幸福は、正義の原理か	講義
9	公共性と私(2) 正義②サンデルの正義観 全てを個人の判断にゆだねる自由主義的原理は公共世界を衰退させないか？	講義
10	公共性と私(3) 正義③センの正義観 制度設計の正しさと現実の不公正、正すべきは大きい不正か不正一般か？	講義
11	環境倫理(1) 巨大地震など大災害に備える防災訓練の目的は？「生命の保全」か生命と財産の保全」か？	講義
12	環境倫理(2) 大災害時に問われる隣人への義務　消極的義務と積極的義務	講義
13	環境倫理(3)　災害と向き合う哲学　～セネカ、カント、池田晶子、～	講義
14	まとめと振り返り	講義
15	試験・まとめ	

【5】 評価方法

教場試験の結果を基本とするが、課題レポートの出来を加点評価として加えることがある。

【6】 教科書

なし。原則として毎回配布するプリントを基礎教材とする。

【7】 参考書

A.スミス『道徳感情論』,村井章子ほか訳,日経 BP 社、
E.フロム『愛するということ』鈴木昌訳,未来社、
J.ロールズ『正義論』川本隆史ほか訳,平凡社、
A.セン『正義のアイデア』池本幸生訳,明石書店、
M.サンデル『これからの正義の話をしよう』鬼澤忍訳,早川書房、
『水戦争の世紀』鈴木主悦訳,集英社新書、
ソルニット『災害ユートピア』直江清隆ほか『災害に向き合う』、岩波書店
Richard L.Parry, Ghosts of the Tsunami, 2018, Vintage

【8】 受講生へのメッセージ

毎回、講義終了前 5 分程度を使ってその日の講義についてのコメントを書いてもらう予定
理解度などを考慮して、上記進行予定は変更することがある。